

No.	②	分類	2-(2)-イ	資料名	あらゆる人種差別の撤廃に向けて	学年	全学年	領域	総合的な学習の時間
-----	---	----	---------	-----	-----------------	----	-----	----	-----------

1 ねらい

人種差別の歴史や現状について理解を深めるとともに、差別解消のために立ち向かった人たちの活動に触れ、異なる文化を正しく理解することの大切さに気づき、人種差別を解消しようとする意欲や態度を身につける。

2 活用上の留意点

- 人種差別や民族差別が存在していることを認識し、諸外国に対しての誤った認識が偏見や差別につながっていることを捉えさせたい。
- 人種差別や民族差別に関わる歴史（世界の現状、条約、アパルトヘイト等）についての理解を深めさせるとともに、課題意識をもたせる。

3 掲載資料に関する参考事項

- 海岸の立て看板は、「ダーバンビーチ条例第37節に基づき、この海水浴場は白人種集団に属する者専用とされる。」という意味である。

4 展開例

【展開1】 人種・民族問題について知っていることを話し合ひましょう。

<ねらい>
人種・民族問題の存在を知り、その解決のための世界的な取組について知る。
<活動>
・人種・民族問題について知っていることを発表し合う。

【研究課題・活動課題の例】

- ・人種差別について、知っていることを話し合おう。
- ・今も人種差別が続いている理由について考えよう。
- ・人種差別撤廃条約を読み、その歴史や趣旨を確認しよう。

【展開2】 人種差別に立ち向かった人々の思いについて考えましょう。

<ねらい>
差別の解決に向けて取り組んだ人たちの願いやその方法について知り、自分も差別やいじめの解消のために取り組もうとする意欲をもつ。
<活動>
・資料から感じることや、自分が知っていることについて発表し合う。

【研究課題・活動課題の例】

- ・人種差別に立ち向かった人たちの取組や言葉について考え、願いや思いを感じ取り、感想を話し合おう。
- ・人種差別に立ち向かった人たちについて調べてみよう。

【展開3】 アイヌ民族の歴史や文化について調べましょう。

<ねらい>
アイヌ民族が日本の先住民族であるという認識をもち、アイヌ民族への差別の実態も知りながら、その解消と共生を考える。
<活動>
・アイヌ民族の歴史と文化について調べる。

【研究課題・活動課題の例】

- ・アイヌ民族の歴史や文化について知っていることを発表しよう。
- ・アイヌ民族の願いや悩みについて知り、その解決の方法を考えよう。

5 参考

- 外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinshu/>
- 公益社団法人アムネスティ http://www.amnesty.or.jp/about_us/
- 公益財団法人アイヌ文化振興研究推進機構（札幌市） <http://www.frpc.or.jp/>
- アイヌ文化交流センター（東京都中央区） http://www.frpc.or.jp/cultural_exchange/lecture.html